

参院選の大争点

安倍改憲を許すのか 戦争法の廃止か

共産党・志位委員長が主張

▷NHKテレビより



日本共産党の志位和夫委員長は4月3日、NHK「日曜討論」に出演し、与野党代表と論戦を交わしました。この中で夏の参院選の争点について述べた部分を紹介します。

志位氏は、安倍・自公政権が狙う憲法改定について、立憲主義というのは「憲法によって権力を縛る」というものなのに、「自民党改憲案」は逆に「国民を縛る」重大な内容になっていることを批判。「参院選では、『自民党改憲案』の是非が争点になります。立憲主義の全面破壊に進んでいいのか、『自民党改憲案』—安倍改憲を許していいのか、それとも安保法制=戦争法を廃止するのかが大争点となります」と主張しました。

自民党の高村正彦副総裁は当初、「今度の選挙で憲法改正は主要な争点とならない」と弁明したものの、志位氏の発言に対し「(自民党の改憲草案が参院選での)一つの判断対象になる」と認めました。

さらに志位氏は、自民党改憲案の重大問題として、3つの問題を指摘(右囲み参照)しました。

これに対し高村氏は、「現憲法の『公共の福祉』を置き換えただけだ」と弁明。志位氏が「(現憲法の)『公共の福祉』とは、いろんな人権がぶつかりあったときに、それを調整する概念だ。(『自民党改憲案』の)『公益及び公の秩序』とは、上からの、国家目的のために、人権を縛るというものであり、まったく違う」と指摘すると、高村氏は反論不能に陥りました。

自民党改憲案の重大問題

- ①9条2項を全面削除して「国防軍」を書き込み、海外での武力行使を際限なくやれるようにする
- ②「緊急事態条項」を創設して事実上の「戒厳令」に道を開く
- ③「公益及び公の秩序」のためには基本的人権を制約できる

◆志位委員長の発言全文はホームページで→



安倍暴走 ストップ 野党共同に全力!! 日本共産党を伸ばして下さい



参議院(東京選挙区)予定候補
弁護士・31歳
やまぞえたく

山 添 拓



日本共産党福生市議会議員
おく とみ き いち
奥 富 喜 一
福生市大字福生947
ブログ <http://kiichi.cocolog-tcom.com/>
電話 042-553-3927
携帯 090-8955-2831

東京民報
ご意見・ご要望は 03-3370-0311、FAX 03-3370-0471
2016年4月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介いたします。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党